

(証券コード：6834)

# 個人投資家向け 会社説明会



**SEIKOH GIKEN**

株式会社 精工技研

2024年2月14日

# 本日本日お伝えしたいこと

1. 当社の概要
2. FY2023 第3四半期決算ハイライト
3. 中期経営計画マスタープラン2022（FY2022～FY2026）
4. ～社会価値の最適化のための～ サステナビリティ戦略
5. 企業価値の向上に向けて
6. 株式の状況と株主還元



# 当社の概要

# 会社概要

社名	株式会社 精工技研
上場市場	東京証券取引所スタンダード (証券コード：6834)
代表者	代表取締役社長 上野 昌利
創業	1972年6月
本社所在地	千葉県松戸市松飛台
資本金	67億9168万円
売上高 (2023年3月期)	162億8297万円
従業員数 (2023年3月末)	連結：914名／単体：177名



【本社工場】



【第2工場】



【第3工場】

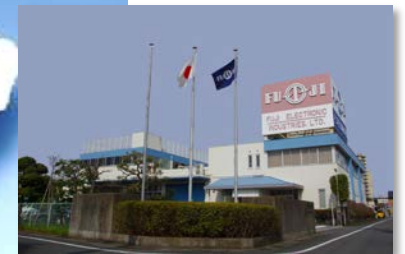
# 関係会社

国内1社 海外6社（他、持分法適用関連会社2社）

- SEIKOH GIKEN EUROPE GmbH（ドイツ） ● SEIKOH GIKEN USA, INC.（アメリカ）



- DATA PIXEL SAS（フランス）



- 杭州精工技研有限公司 ● 大連精工技研有限公司 ● 不二電子工業株式会社



- SEIKOH GIKEN（Thailand）  
※2023年3月設立

# 経営理念・ビジョン

## ■ 経営理念

すぐれた技術と独創性で、質の高い商品を提供し、  
社会の進歩発展に貢献して、  
会社の成長と社員の幸福を追求する。

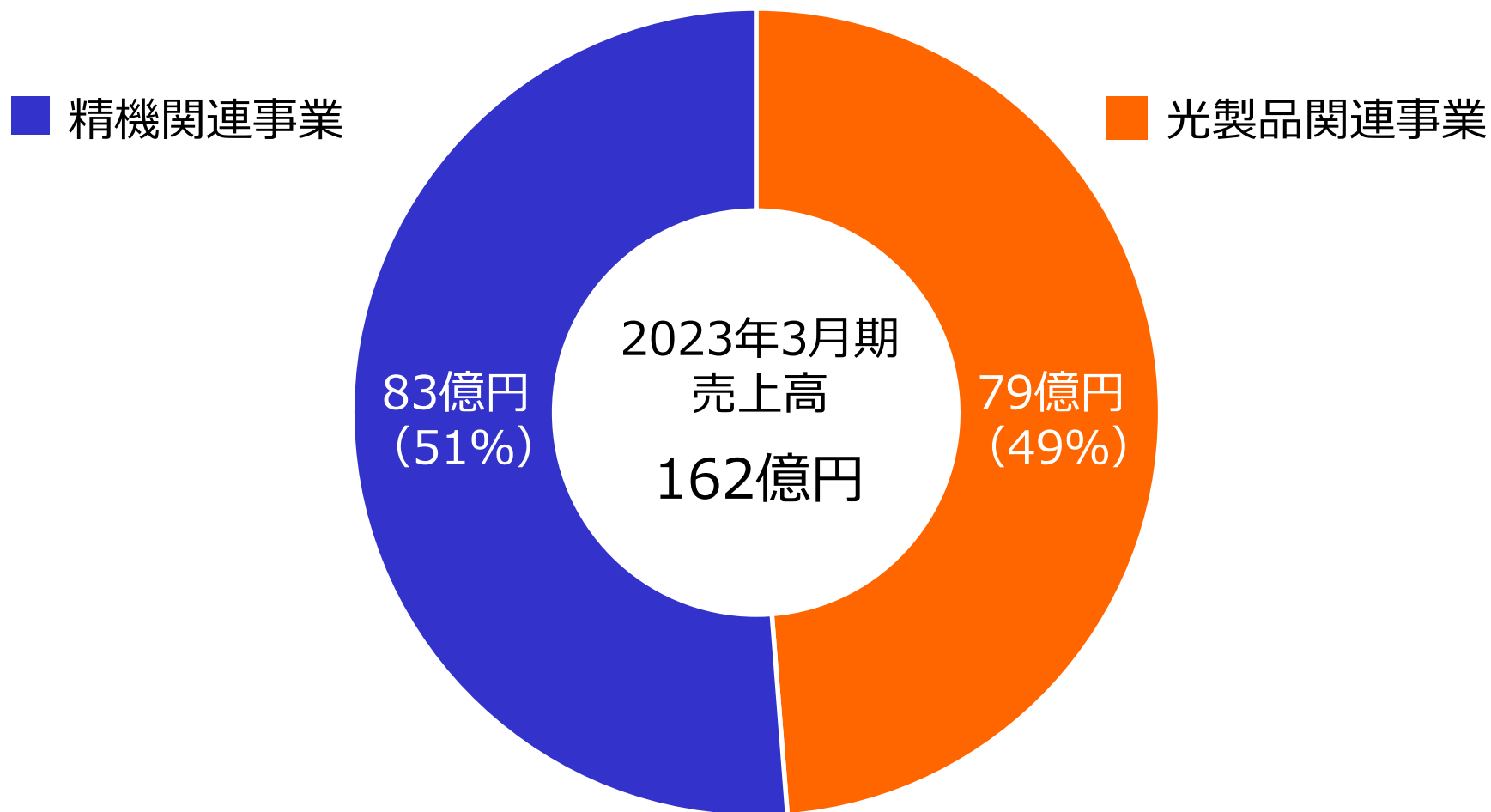
## ■ ビジョン

世界の顧客の『ベストパートナー』となる

- ◆ 精密技術で、顧客から最も頼りにされる存在となる
- ◆ 柔軟な発想で、新事業・新製品・新技術を創造する

## 事業概要

バランスの取れた2つの事業構成



# 事業の沿革

**1986**

コネクタ付きコード  
 生産開始  
 光通信市場に参入



**1987**

光コネクタ研磨機  
 開発

**世界トップシェア**



**2005**

セイコーインスツル殿から  
 光事業を譲り受け



**2006**

NECトキワ殿から  
 光デバイス事業を  
 譲り受け



**2017**

DATA PIXELを  
 子会社化



1972

1980

1990

2000

2010

2020

**1972**

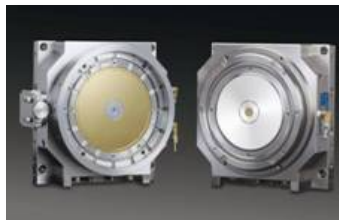
自動車向け  
 焼結機械部品  
 成形用金型開発



**1984**

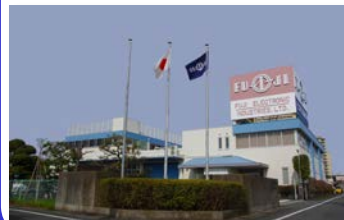
光ディスク成形用  
 金型開発

**世界トップシェア**



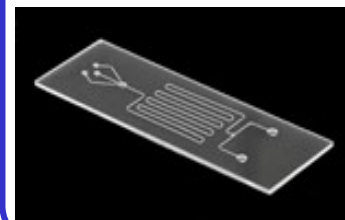
**2013**

不二電子工業を  
 子会社化  
 車載部品比率UP



**2019**

医療向け成形品  
 量産開始



**2023**

小型部品向け  
 型内塗装技術を  
 開発開始





# 基盤技術と貢献領域

情報通信



自動車



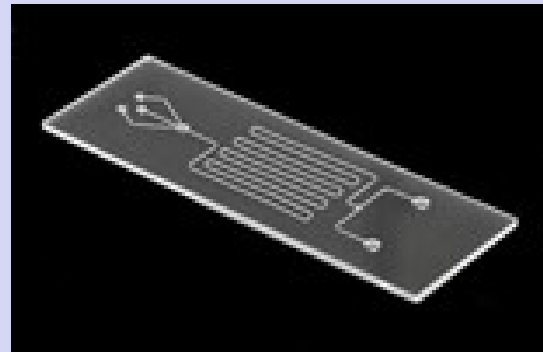
医療・バイオ



優位性のある基盤技術を成長市場に展開



精密加工技術



精密成形技術



光学技術

# 主力製品群

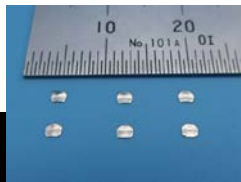
現在は 自動車／情報通信関連市場を軸に事業を展開

■ 精機関連事業

■ 光製品関連事業



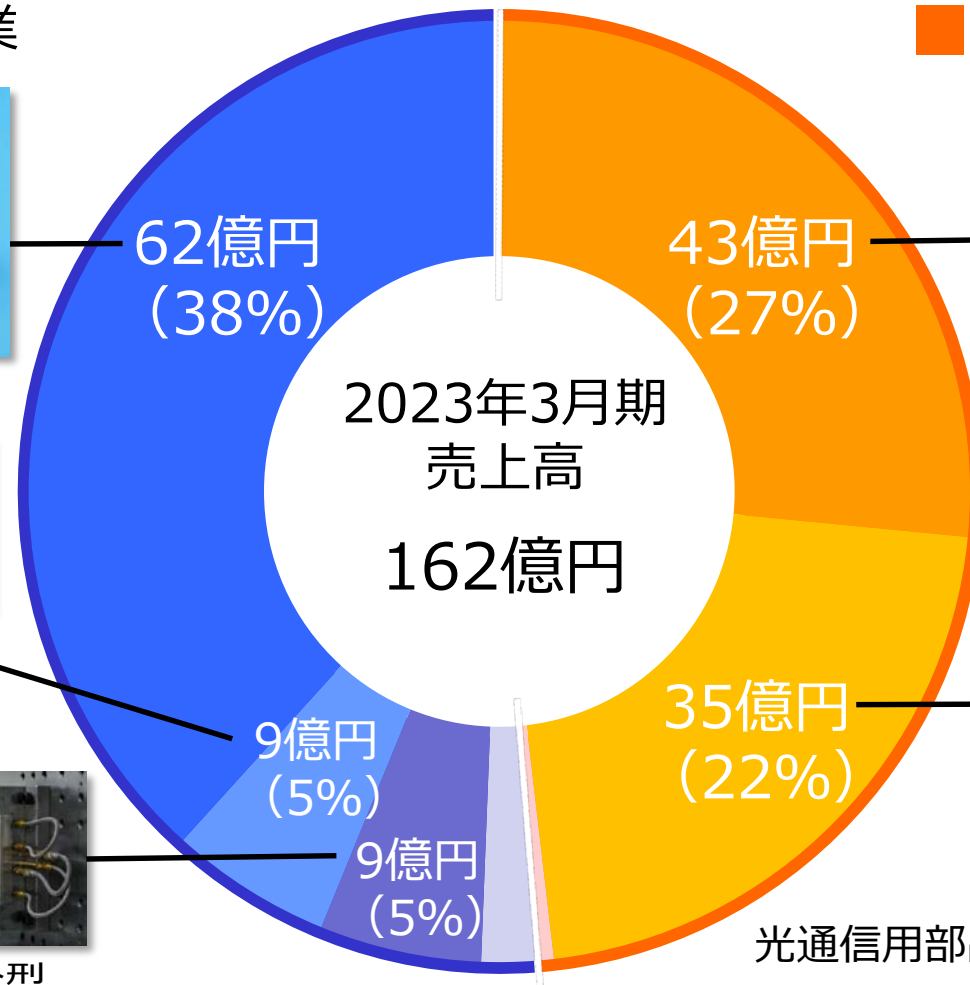
車載用成形品



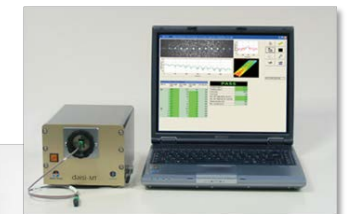
その他成形品



精密金型



光通信部品



光通信部品 製造機器・測定装置

# 主力製品（精機関連）

精密金型技術をベースに、インサート成形、精密プレス成形、組立技術を活用し、成形品とデバイス品を提供

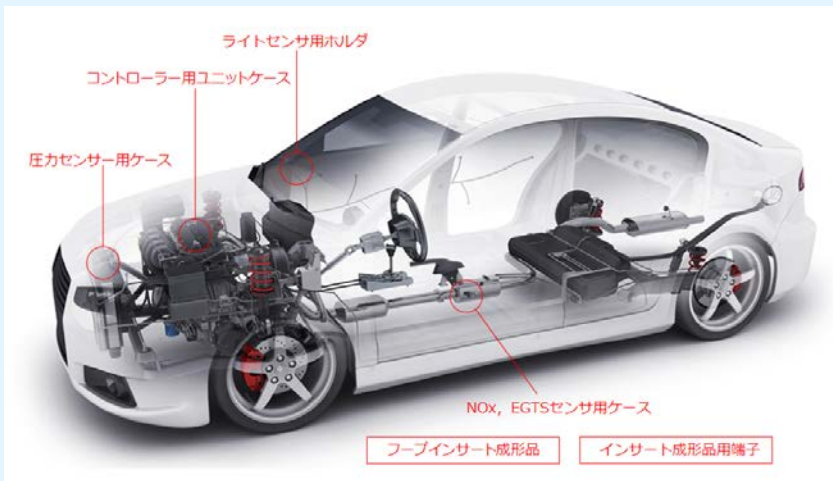
## 車載用 インサート成形品



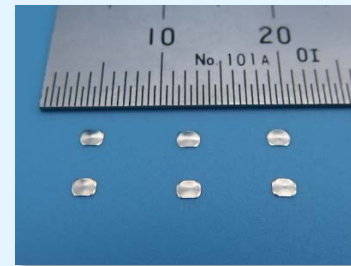
圧力センサー用ケース



ライトセンサ用ホルダ



## 電子機器用 プレス成形品



スマホ用スイッチボタン



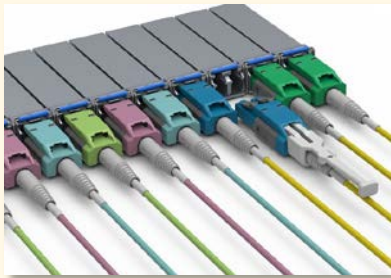
キーボード入力キー



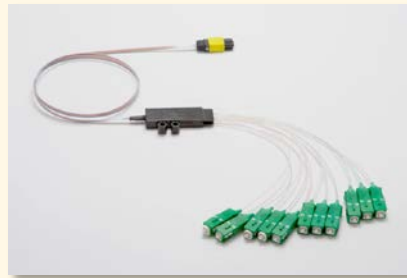
# 主力製品（光製品関連）

「光をつなぐ」ための あらゆる部品や機器・装置をラインアップ  
光通信やデータセンターの拡大と機能向上に貢献

## 光通信用部品

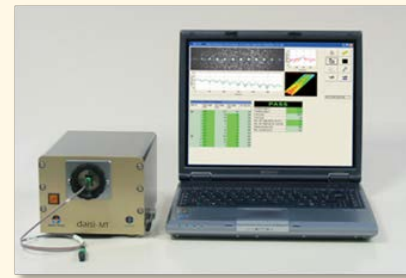


データセンター用光コネクタ



MPO（多芯）光コネクタ

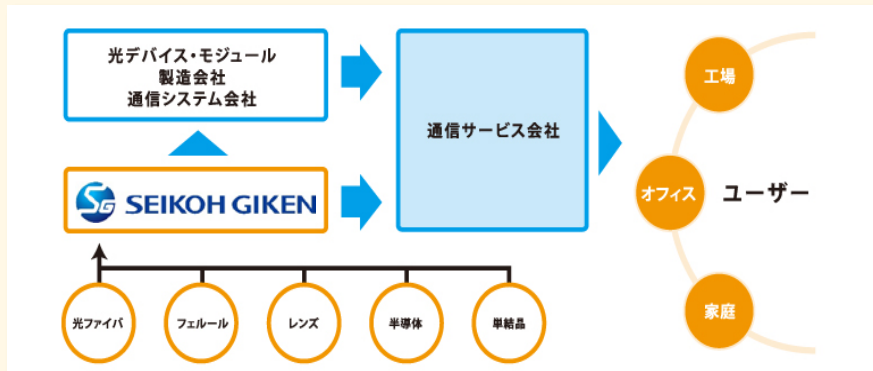
## 光部品 製造機器・測定装置



光コネクタ端面検査装置



光コネクタ研磨機



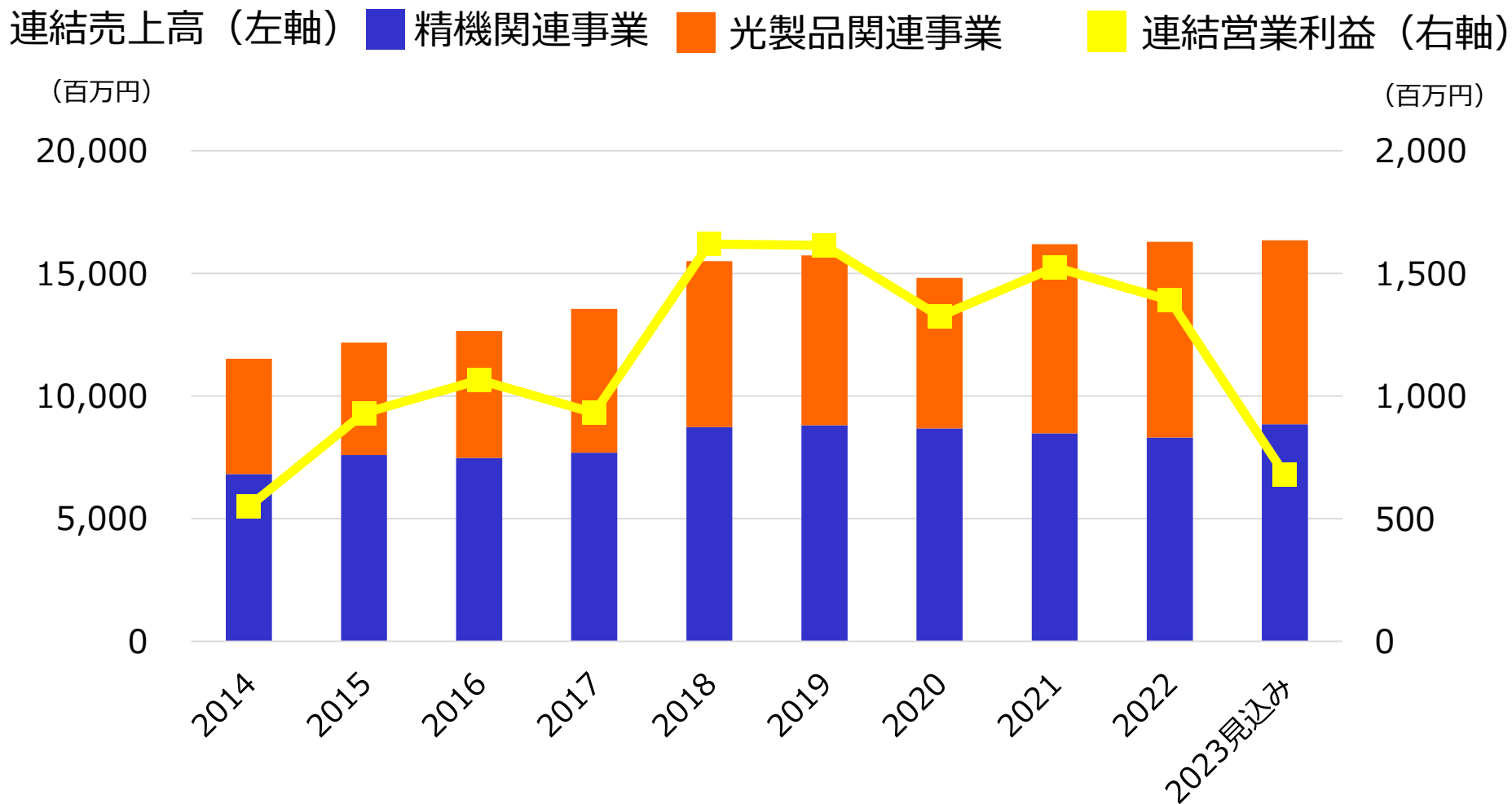
当社のポジション




高速大容量の光通信に欠かせないキーマシン

# 業績推移

売上高は着実に成長 営業利益は足元で悪化傾向





# FY2023 第3四半期 決算ハイライト

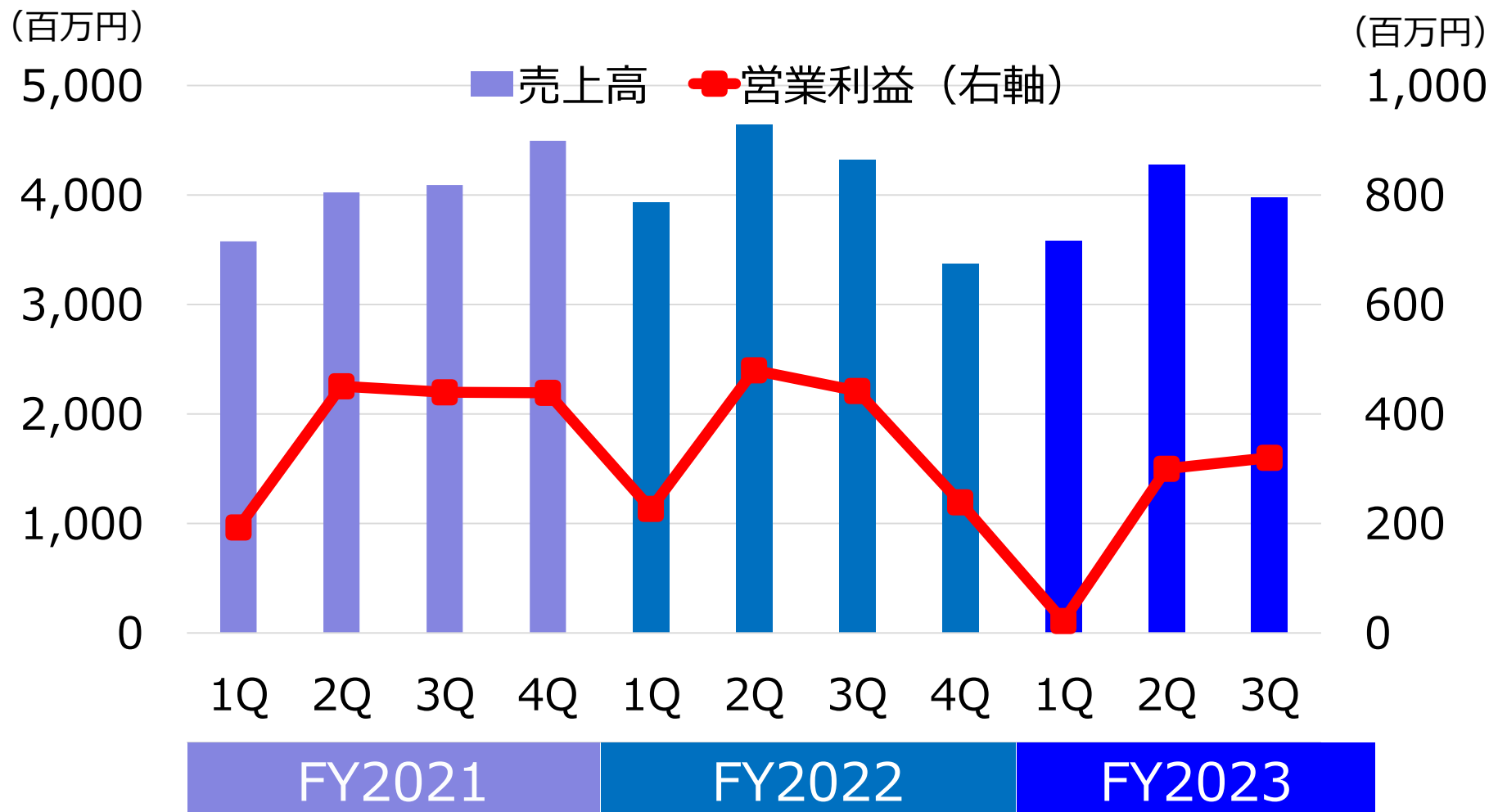
# FY2023 3Q 連結決算ハイライト

(百万円)	2024年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	対前期 増減率	通期業績計画
				2023/11/10 修正計画
売上高	11,845	12,905	△8.2%	16,530
営業利益	642	1,151	△44.2%	680
経常利益	791	1,331	△40.6%	850
四半期純利益	397	941	△57.8%	470

- 光通信関連市場が停滞し、利益は前年同期から大きく減少
- 通期業績計画に対しては、利益面の進捗が順調

# FY2023 3Q 連結決算ハイライト

## ■ 連結損益 四半期推移







中期経営計画  
マスタープラン2022  
(2022年度～2026年度)

## 長期経営方針

# 当社グループが目指す企業像 「社会に必要とされる企業」

社会の**進歩発展**に貢献する

- ・ 豊かで快適な社会の構築
- ・ 安全安心な社会の構築



社会の**維持継続**に貢献する

- ・ 資源循環型社会の構築
- ・ 脱炭素社会の構築



## マスタープラン2022 基本方針

# 「変化」と「成長」 Change & Growth

“環境の変化”を“成長の機会”と捉え

経済価値の最大化

社会価値の最適化

の、両立を図る

# マスタープラン2022 基本戦略

## 経済価値の最大化 ～事業の成長～

### 顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

### 新製品・ 新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

### ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

## 社会価値の最適化 ～サステナビリティ～

### 経営基盤の強化

- 多様な人材が生き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

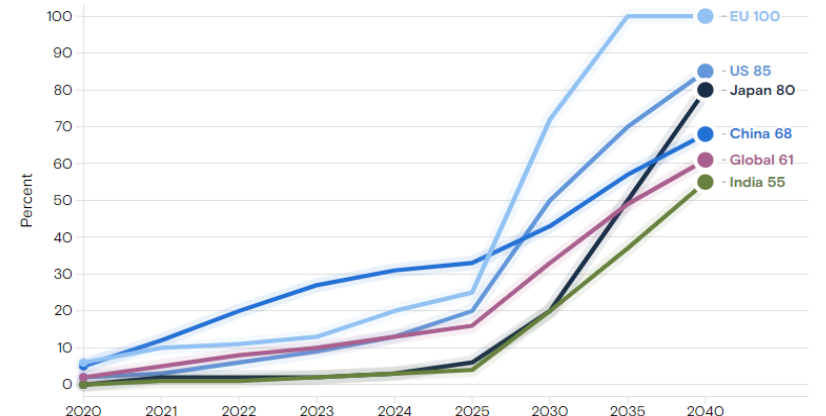
# 戦略商品・戦略技術

## 電気自動車（EV）用 車載成形品



The shift to electric vehicles is forecast to accelerate

Electric vehicle sales ratio (%)



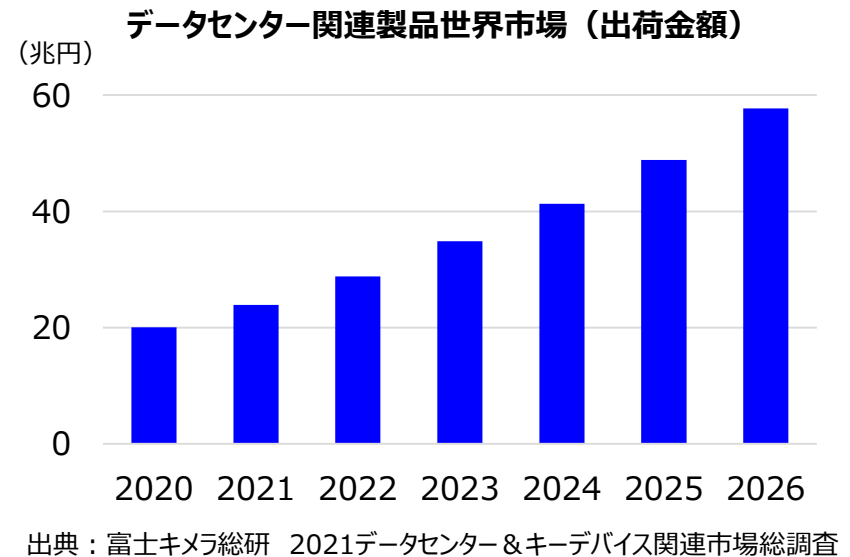
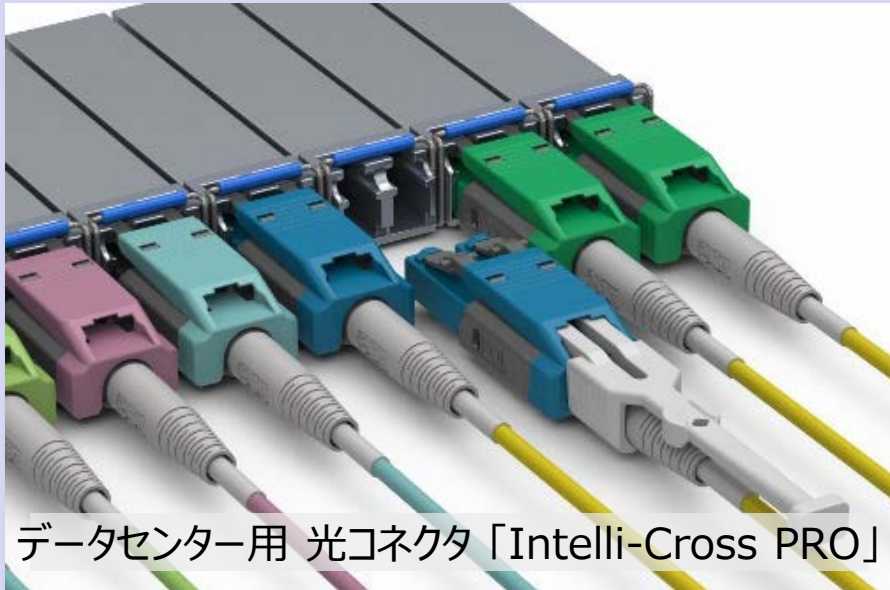
Source: IHS Global Insight, Goldman Sachs Research - 2022-2040 are forecasts

Goldman Sachs

- EVの世界販売台数は、2025年から急激な増加が見込まれる  
2020年に2%であったEVの販売構成比は、2040年には61%にまで達する見通し
- 子会社の不二電子工業では2023年、EV用成形品の工場を新たに稼働開始  
高まる需要に向けて生産体制を強化

# 戦略商品・戦略技術

## データセンター用 光コネクタ



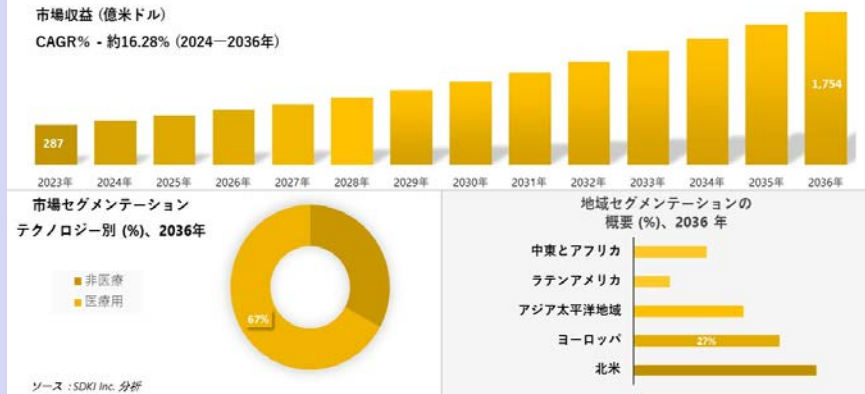
- ・ 生成AIの本格的な普及を控え、世界でデータセンターの拡張が続く  
データセンター関連市場は、前年比約20%の成長が見込まれる
- ・ データセンター用に開発した光コネクタ「Intelli-Cross PRO」は引き合いが増加中  
日本国内で自動機による量産で需要増加に対応

# 戦略商品・戦略技術

## 医療・バイオ市場向け 樹脂成形品



### マイクロ流体市場、規模、シェア、成長分析予測



出典: SDKI Inc. 2023年10月15日調査結果発表資料

- 先進国の高齢化、慢性疾患の有病率の上昇、検査技術の進歩などを背景に、マイクロ流体世界市場は年率約16%の拡大が続く見通し
- 金型技術と精密成形技術の活用で、微細な流路を施した樹脂製デバイスを開発  
新型コロナをはじめ、インフルエンザや成人疾患等、様々な検査に活用可能

# 戦略商品・戦略技術

## 小型樹脂部品向け 型内塗装技術



株式会社東海理化と共同で開発



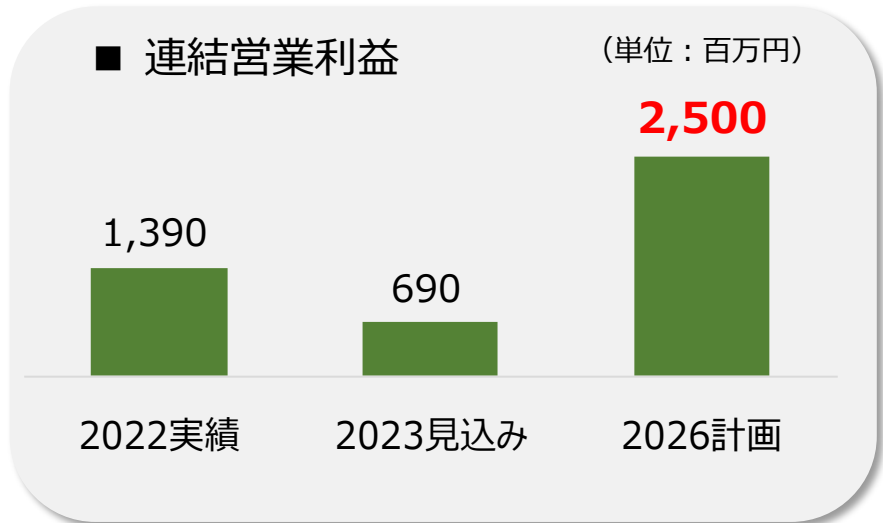
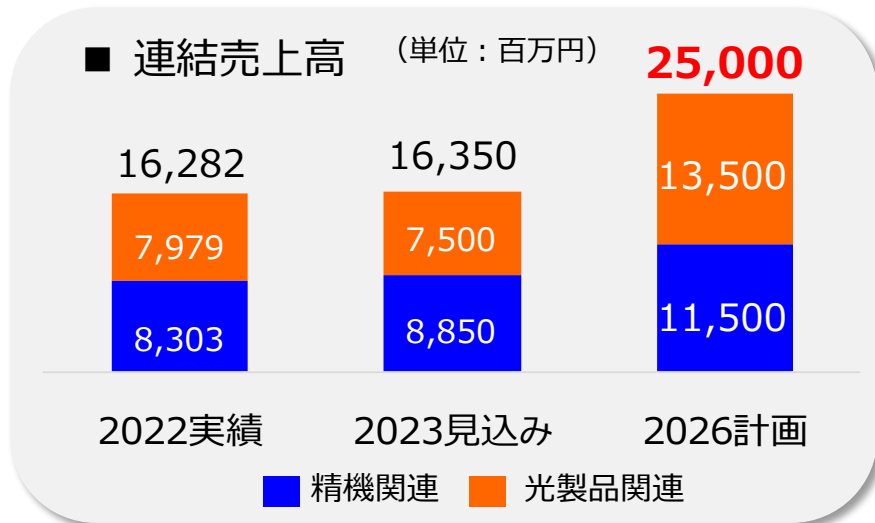
- ・ 従来別々に行っていた「成形工程」「塗装工程」「乾燥工程」の各工程を金型内部で一貫して行うことが可能に
- ・ 従来の成形方法と比較して、CO2排出量を約60%削減、工場内のスペースを約80%削減できるほか、消費電力量も大幅に削減可能

⇒ 小型樹脂部品の成形シーンを一新する可能性のある画期的な技術開発



# 中期経営目標（損益指標）

中期経営目標：売上高250億円、営業利益25億円以上



(単位：百万円)	FY2022実績	FY2023見込み	FY2026計画	FY2022比
精機関連	8,303	8,850	11,500	139%
光製品関連	7,979	7,500	13,500	169%
<b>連結売上高</b>	16,282	16,350	<b>25,000</b>	<b>154%</b>
<b>連結営業利益</b>	1,390	690	<b>2,500</b>	<b>180%</b>
営業利益率	8.5%	4.2%	10%	+ 1.5%

～ 社会価値の最適化のための ～



# サステナビリティ戦略

# サステナビリティ戦略 ～SDGsへの貢献～

事業活動（商品・サービス）と  
企業活動（制度・取り組み）を通して  
**4つのSDGs目標達成**に貢献する

8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



12 つくる責任  
つかう責任



13 気候変動に  
具体的な対策を



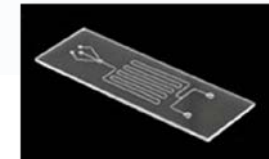
# サステナビリティ戦略 ～事業活動による貢献～

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



時代が求める商品やサービスをタイムリーに提供し、  
社会の進歩発展を支える

- 快適なインターネット環境の構築に貢献する光通信用部品
- EVの普及や自動運転の進化を促す車載用部品
- 人々の健康な暮らしを支える医療・バイオデバイスの開発



12 つくる責任  
つかう責任




3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進し、  
資源循環型社会の構築に貢献

- リサイクル樹脂の活用により、廃棄物を削減
- 環境に配慮した製品の開発・設計の推進
- 環境負荷となる有害化学物質の削減と管理の徹底
- 環境関連法規制の遵守



# サステナビリティ戦略 ～企業活動による貢献～

**8** 働きがいも  
経済成長も



多様な人材が生き活きと働ける環境整備  
クラウド化・ペーパーレス化・DX対応

- ダイバーシティとグローバル化の推進
- 継続的成長を実現する人事制度の構築
- DX・クラウド・ペーパーレス化の推進



2023年8月 健康保険組合連合会 東京連合会より  
健康優良企業に認定され、「銀の認定」を取得

**13** 気候変動に  
具体的な対策を



2026年度 温室効果ガス自社排出量  
⇒ 2020年度比17%削減へ

- 型内塗装技術による環境維持への貢献
- 温室効果ガス排出量の削減推進
- BCPの実効性の向上

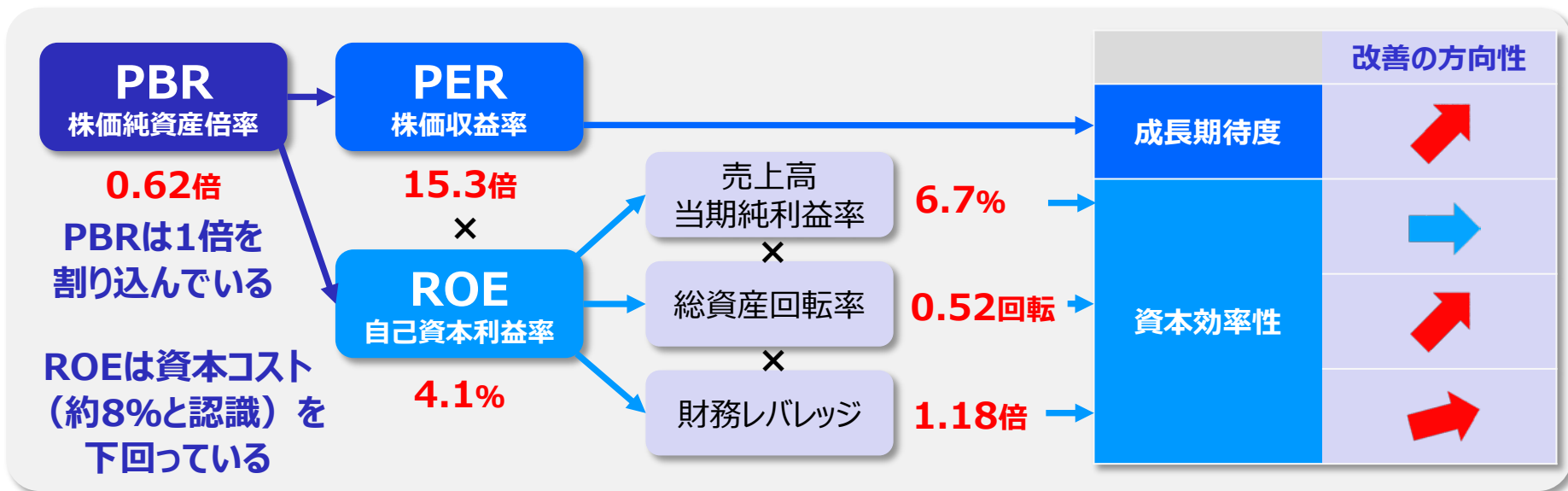


2022年11月 COOL CHOICEに賛同し、賛同企業として登録  
2022年12月 まつど脱炭素社会推進事業所に登録



**企業価値の向上に向けて**

# 現状分析



指標	単位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
<b>PBR</b>	倍	0.62	0.46	0.53	0.66	0.72	1.10	0.75	0.90	0.63	0.62
<b>PER</b>	倍	▲456.8	32.0	20.3	17.8	17.6	20.7	15.3	22.3	14.1	15.3
<b>ROE</b>	%	▲0.1	1.4	2.6	3.7	4.1	5.3	4.9	4.1	4.5	4.1
売上高当期純利益率	%	▲0.3	2.6	4.5	6.2	6.8	8.0	7.3	6.6	7.1	6.7
総資産回転率	回	0.44	0.47	0.49	0.51	0.51	0.56	0.57	0.51	0.53	0.52
財務レバレッジ	倍	1.15	1.15	1.17	1.16	1.17	1.19	1.18	1.20	1.19	1.18

# 企業価値の向上に向けて

中期経営計画マスタープラン2022の遂行による「**事業の成長**」を軸に  
以下の施策の実施により、中長期的な企業価値向上を実現する

成長期待の醸成	IR・企業広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機関投資家、<b>個人投資家向けIRの強化</b></li> <li>・ 新聞、業界紙等へのプレスリリース強化</li> </ul>
	サステナビリティ (非財務情報)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人的資本投資による人財力の向上</li> <li>・ ESG関連情報の開示</li> </ul>
	株主還元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>配当水準の維持、向上</b></li> <li>・ 機動的な自社株式の取得</li> </ul>
資本効率性の改善  目標ROE 5%~  中期的に資本コスト8%を上回るROEを目指す	売上高の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>戦略的M&amp;A、アライアンスの実施</b></li> <li>・ 中期事業計画に基づくオーガニック成長</li> </ul>
	収益性の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IT化による業務効率の向上</li> <li>・ 自動化による生産効率の向上</li> </ul>
	資産の圧縮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不採算事業、拠点の統廃合</li> </ul>
	財務レバレッジの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有利子負債の活用</li> </ul>



# キャピタル・アロケーション

中期経営計画マスタープラン2022の残り3年間（FY2024～FY2026）に創出する  
営業キャッシュフローは、M&Aをはじめとする戦略投資に積極的に充当し、  
資本効率の向上を図る





# 株式の状況と株主還元

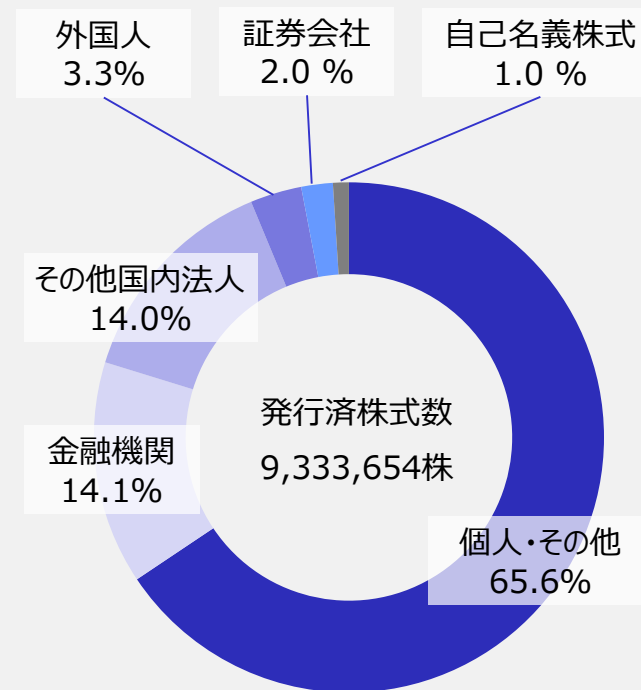
# 株式の状況

## ■ 株式指標

発行済株式数（2023年12月31日現在）	9,333,654株
株価（2023年12月29日）	1,380円
1株当たり純資産（FY2023 3Q末）	2,948円08銭
PBR：株価純資産倍率	0.47倍
1株当たり当期純利益（FY2023 期末予想）	51円52銭
PER：株価収益率（FY2023 期末予想）	26.79倍
1株当たり配当金（FY2023 期末予想）	55円
配当利回り	3.99%

2023年12月29日株価（1,380円/株）で計算

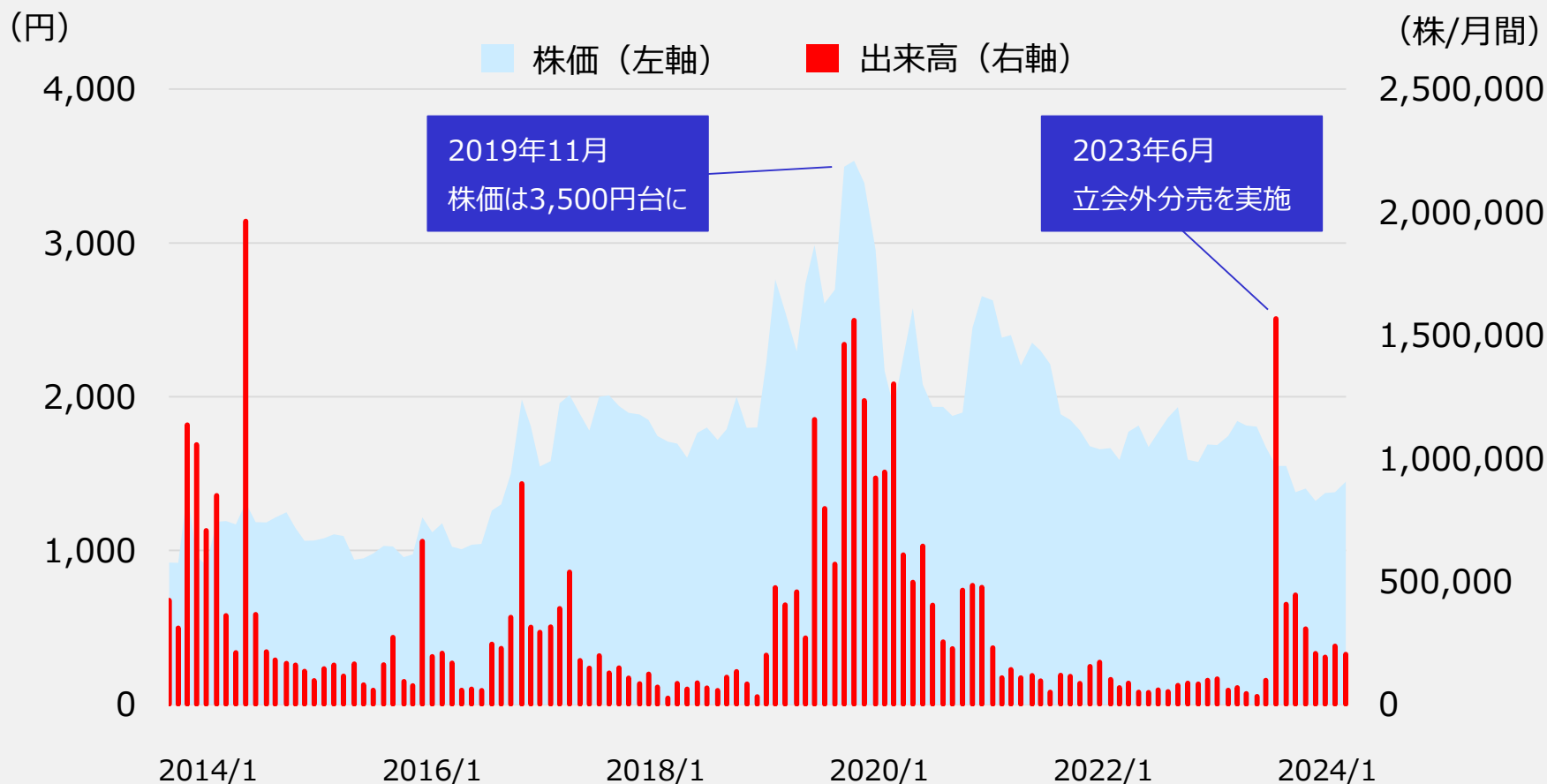
## ■ 所有者別株式分布



# 株価の推移

## ■ 株価/月間出来高 推移

株価は2019年11月に3,500円台をつけて以降、下落基調で推移  
2023年6月に約40万株の立会外分売を実施し、出来高は増加



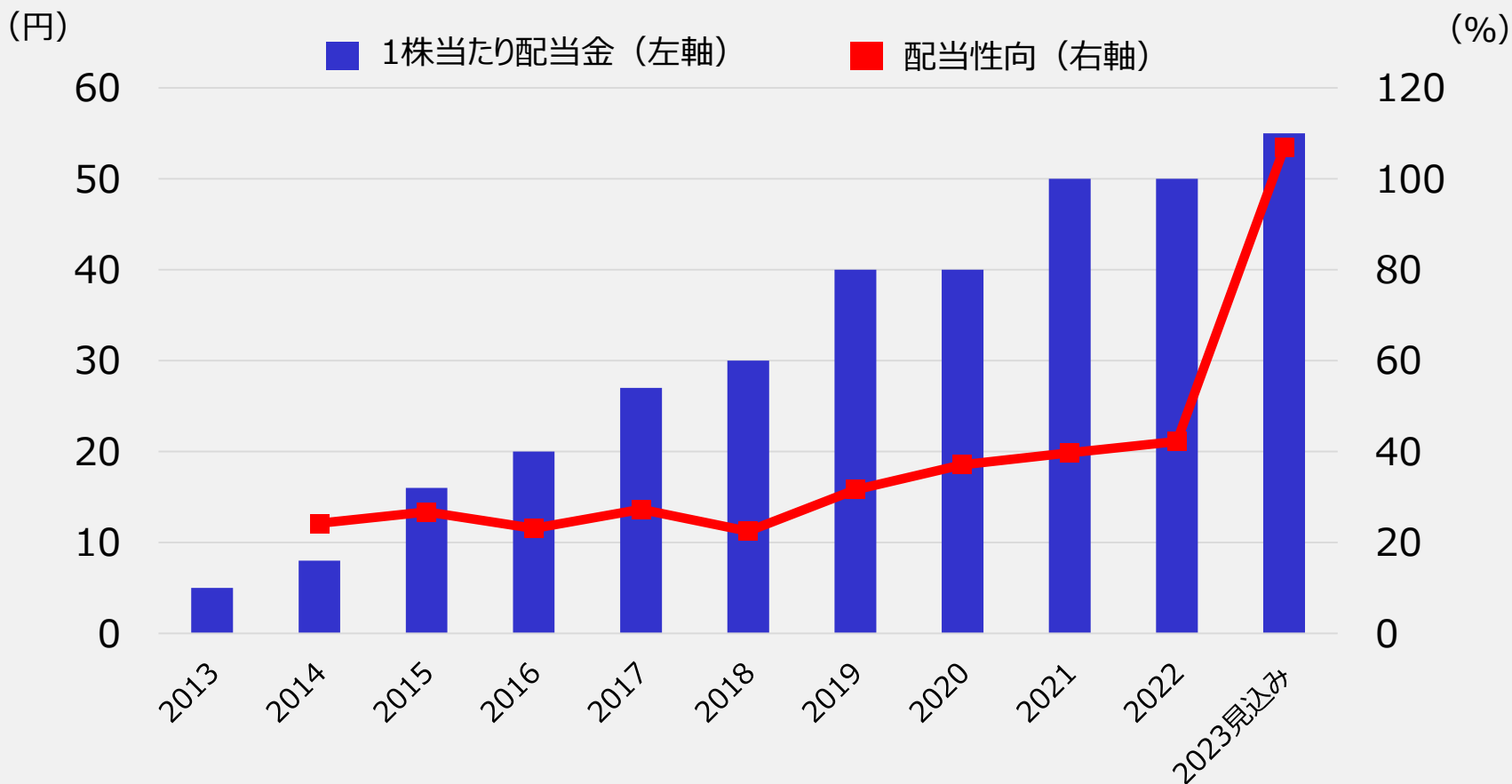
# 株主還元

## ■ 配当金の推移

配当金は安定的に上昇

2023年度の配当性向は100%を超える見通し

**1株当たり配当金の水準は今後も安定的に維持・向上させていく方針**



# IRサイトのご紹介



## コーポレートWEBサイト

<https://www.seikoh-giken.co.jp/>



## IRページ

<https://www.seikoh-giken.co.jp/irinfo/index.html>



# 終わりに

本日はご視聴いただきありがとうございました。

当資料に記載している業績の見通し、その他の今後の予測・戦略等に関する情報は、  
当資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、  
通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別な事情の発生または  
予測し得ないような結果の発生などにより、当資料に記載している業績見通しとは  
異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は今後も、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報について、  
積極的な開示に努めてまいります。当資料に記載している業績の見通しのみ  
全面的に依拠して投資をご判断されることは  
くれぐれもお控えくださいますようお願い申し上げます。



**SEIKOH GIKEN**

<https://www.seikoh-giken.co.jp>